

日本外科系連合学会誌投稿規定

投稿内容

投稿論文は外科系各領域の進歩に寄与するもので、他誌に発表されていないものに限る。投稿にあたっては各巻1号に掲載の「二重投稿ならびに不適正な投稿の防止について」を参照し、二重投稿でない旨などを記した誓約書（別紙）を添付する。倫理上問題のある論文は受け付けない。また、個人情報保護に準拠した内容とする。利益相反状態を明示し、著者全員の記名を必要とする。なお、英文原稿による投稿も受け付ける。単名での投稿は受け付けない。

投稿資格

著者は共著者も含め本学会の会員に限り、原稿の投稿時には誓約書（別紙）の提出を要する。なお、病理医などで特に入会免除の手続きを求める場合は、その旨を申し出る。

各論文には指導者を明確にする。指導者は論文の確認・適切な指導を行い、内容に関しての責任を持つ。指導者用 誓約書の提出を要する（サインは直筆とする）。

論文の採択

投稿論文の採否は編集委員会の審査によって決定し、審査には査読制を採用する。

投稿原稿

1. 投稿論文は、原則として総説review article, 原著original article, 臨床経験 clinical analysis, 手技・機器の開発new technology, 症例報告 case reportとする。なお、これらの投稿はオンライン上で行うものとする。
2. 特集、トピックスの執筆者は、原則として編集委員会から依頼する。

原稿の書き方

1. 和文原稿は、A4判 タテ用紙に12ポイント、標準的なフォント（MS明朝体、MSゴシック体など）で、査読者の添削を妨げない行間と字詰めを確保して作成し、必ず行数・頁数を付ける。
2. 記述にあたっては新仮名づかい、医学用語を除き常用漢字を用いるが、外国人名、薬品名などは原語とする。日本語として一般的に用いられている外国語は原則として日本語表記とする。
3. 略語は初出時にフルスペルで明記し、度量衡はCGS単位を使用する。
4. 英文原稿は、A4判 タテ用紙に12ポイントでdouble spaceとする。編集事務局より医学知識を有するnative speakerの校閲依頼を行う。費用は筆頭著者の負担となり、雑誌発行後に請求となる。

【費用について】

■和文原稿の場合（英文タイトル・英文要旨の校閲のみ）
一律校閲手数料5,000円（税込）

■英文原稿の場合
原稿により費用は異なる。

投稿データの仕様

	ファイル形式	原稿形式	用紙の向き
表紙・要旨・本文・文献・図の説明	Word	A4判 12ポイント	タテ
図	JPEG	300dpi	正しい天地で
	PNG	300dpi	正しい天地で
	PowerPoint	A4判 300dpi	タテ/ヨコ, 正しい天地で
表	Excel	A4判	タテ
	PowerPoint	A4判	タテ/ヨコ

※Word, Excel, PowerPointの推奨Version…Microsoft® Office 2003

表紙

1. 和文原稿の場合
記載する内容：①原稿の様式に定めた論文の種類別、②題名、③所属、④著者名（単名は不可。原則として10名以内）、⑤欄外見出し（25字以内）、⑥連絡先、⑦別刷希望、②、③、④は英語表記を併記する）
2. 英文原稿の場合（Title page）
Type of articles, Title, Authors (Full names), Affiliation, Running title (no more than 50 characters), Correspondence to, Reprints order.

要旨

1. 和文原稿の場合
内容要旨を400字以内で記述する。可能な限り構造化抄録（目的、方法、結果、結語）で作成する。英文原稿に準じた英文要旨（下記2. 参照）も必要である。なお、英文要旨は、医学知識を有するnative speakerの校閲を経たものとする。
2. 英文原稿の場合
英文要旨：①Title, ②Authors, ③Affiliation, ④Abstract, ⑤Key wordsを記載する。Abstractは、内容要旨を200語以内で記述する。

索引用語 (Key words)

総説, 原著は5語以内, 臨床経験, 手技・機器の開発, 症例報告は3語以内とし, 要旨の頁に記載する。

原稿字数

1. 和文原稿の場合

本文の字数は, 総説, 原著: 10,000字, 臨床経験, 手技・機器の開発: 8,000字, 症例報告: 6,000字以内とする。なお, 詳細は別に定める付表を参照されたい。

2. 英文原稿の場合

Review article: 15 typed pages Original article: 15 typed pages Clinical analysis: 12 typed pages
New technology: 10 typed pages Case report: 10 typed pages

原著, 臨床経験, 手技・機器の開発の原稿の様式

1) 和文原稿の場合

表紙, 和文要旨, 索引用語, 本文 [緒言 (または, はじめに), 対象と方法, 成績 (または, 結果), 考察, 結語 (または, おわりに)], 文献, 図表, 図の説明, 英文要旨

2) 英文原稿の場合

Title page, Abstract, Key words, Text [Introduction, Materials (Patients) and Methods, Results, Discussion], References, Tables, Figures, Figure legends

症例報告の原稿の様式

1) 和文原稿の場合

表紙, 和文要旨, 索引用語, 本文 (はじめに, 症例, 考察), 文献, 図表, 図の説明, 英文要旨

2) 英文原稿の場合

Title page, Abstract, Key words, Introduction, Case Report, Discussion, References, Tables, Figures, Figure legends

文献

1. 文献は必要最小限として, 引用順に番号を付し, 本文中に肩付き番号を付ける。

2. 著者名は3名までを記載し, それ以上は, “他”, あるいは“et al”とする。

3. 引用雑誌名略記は, 医学中央雑誌刊行会編「医学中央雑誌収載誌目録略名表」とIndex Medicusに従い, 以下の文献記載例を参照して記載する。

4. 文献記載順序

1) 雑誌: 引用番号) 著者名: 題名, 雑誌名 巻: 頁-頁, 西暦年号

例1. 山口浩彦, 笠巻伸二, 渡部智雄, 他: ホルモン補充療法 (hormone replacement therapy) 施行中に発症した乳癌の臨床病理学的研究, 日外科系連会誌 30: 569-575, 2005

例2. Giuliani A, Caporale A, Demoro M, et al: Gastric cancer precursor lesions and Helicobacter pylori infection in patients with partial gastrectomy for peptic ulcer. World J Surg 29: 1127-1130, 2005

2) 書籍

① 引用番号) 著者名: 書名. (巻), (版), 発行所, 発行地, 西暦年号, 頁-頁

例3. 大腸癌研究会編: 大腸癌取扱い規約. 第7版, 金原出版, 東京, 2006, p6-16

例4. Baltimore DW: Radiology Review Manual. Williams and Wilkins, Pennsylvania, 1999, p59-60

② 引用番号) 著者名: 分担項目名, 編者名, 書名, (巻), (版), 発行所, 発行地, 西暦年号, 頁-頁

例5. 沖永功太: 鼠径部ヘルニア手術の合併症と対策. 沖永功太編, 鼠径部ヘルニアの手術, へるす出版, 東京, 2003, p148-153

例6. Benson CD: Surgical implication of Meckel's diverticulum. In Ravitch MM, Welch KJ, Benson CD, et al. eds, Pediatric Surgery, 3rd ed., Year Book Medical Publishers Inc., Chicago, 1979, p955-960

3) インターネットのみに存在する文献 (情報):

① 引用番号) 著者名: Webページの題名, Webサイトの名称, URL (アドレス), 参照年月日

例7. 厚生労働省: 社会医療診療行為別調査 (平成17年). 厚生労働省統計表データベースシステム,

<http://www.dhtk.mhlw.go.jp/toukei/index.html>, 平成20年1月21日参照

図 (Figure) (写真を含む) と表 (Table)

1. 図はFigure, 表はTableとし, すべて英文で作成し, それぞれ順に算用数字を付すこと。組写真を掲載する場合は, 希望する配置で作成の上, 投稿すること。本文への引用は該当文章末尾に示す。

2. 図の作成にあたり, 画像については白黒, カラーいずれも300dpi以上の画像データをアップロードすること。

3. PowerPointを使用する場合, 指定解像度以上の画像データを用いて作成の上, 1頁に1Figureずつ貼り付け, 下段にFigure numberを記載し, 論文に掲載する図全体を1ファイルにまとめてアップロードすること。

4. アップロード可能容量は1ファイル20MBまで。

5. 画像は論文データ (Wordファイル) には貼付しないこと。

6. 画像内に用いる印字書体はMSゴシック体もしくはMS明朝体に統一すること。

7. 複数の表をExcelで作成する場合は, 1Tableを1シートとして作成, タイトルを上段に記載し, 論文掲載の表全体を1つのファイルにまとめてアップロードすること。表は掲載時に本学会で書式を統一すること。

8. アップロードする論文データ (Wordファイル) には, 表紙・要旨・本文・文献・図の説明のみ掲載すること。

9. 図と表とを合わせて, 総説, 原著20枚以内, 臨床経験, 手技・機器の開発15枚以内, 症例報告10枚以内とする。

10. 原則として白黒印刷とするが、カラー印刷を希望する場合はその旨を申し出る。

図の説明と表の内容

すべて英文で記載し、組織像には染色法と倍率を明記する。

校正

著者校正は原則として初校のみとし、期日を厳守する。校正に際しては、原則として誤植以外の修正を認めない。

著作権など

本会誌に掲載された論文の著作権は本学会に帰属し、その一部の転載、また全文の利用の際は本学会の承認を必要とする。

掲載料金

1. 総説、原著：刷上り4頁までの掲載料は無料、超過頁料金は1頁毎に20,000円とする。
2. 臨床経験、手技・機器の開発、症例報告：刷上り4頁までの掲載料は25,000円、超過頁料金は1頁毎に20,000円とする。
3. カラー印刷を希望する場合は、実費負担とする。編集委員会により、カラー印刷を指示された場合も同じ。
4. 別刷は30部まで無料とし、超過作成分を実費負担とする。
5. 早期掲載を希望する場合は、その旨申し出る。
尚、費用は一律3万円、著者負担とする。

投稿方法

1. 論文の投稿は、日本外科系連合学会のオンライン投稿用ウェブサイト (<https://secure2.publivate.jp/rengoics/>) から行う。論文のフォーマットや図・表のアップロード方法は、投稿用ウェブサイト (<https://secure2.publivate.jp/rengoics/author/help.html>) を参照すること。
2. システムログイン後、フォームに従い入力すること。誓約書のPDFをアップロードできない場合は下記宛に郵送すること。
〒105-0014 東京都港区芝1-9-3 芝マツラビル1F
大村印刷株式会社
日本外科系連合学会誌編集委員会
委員長 調 憲
3. オンライン投稿査読システムを利用可能なPC動作環境は以下のとおりである。
Windows：Internet Explorer 7.0以降、Mozilla Firefox 3.0以降
Mac：Mozilla Firefox 3.0以降
4. 投稿論文に関する連絡はE-Mailで行われる。
5. 投稿時、論文内容チェックシートの提出が必須である。

再投稿について

採択判定で「再提出」と判定された場合は、半年以内に再度投稿をすること。

尚、再投稿の際は個々のコメントに対して、ひとつひとつ対応した回答を添える。また、修正箇所は、下線を引く、赤字にするなどして一目でわかる様にする。

半年以上経過した論文に関しては、自動的に取り下げたものとみなす。従って再度投稿する際は、新たな論文として新規で投稿をすること。

その他

1. 会誌掲載論文中より毎年優秀論文を選考し、学術集会において学会賞を授与する。
2. 投稿規定は、編集委員会の議を経て改訂することがある。
3. 投稿規定に則さない場合は受け付けない。

平成20年2月28日改訂
平成21年2月19日改訂
平成22年3月31日改訂
平成23年10月12日改訂
平成24年4月1日改訂
平成24年8月1日改訂
平成24年10月1日改訂
平成25年8月6日改訂
平成27年4月1日改訂
平成27年10月30日改訂
平成29年11月23日改訂
平成30年4月30日改訂
平成30年8月30日改訂

付表1. 投稿要項

	総説, 原著	臨床経験, 手技・機器の開発	症例報告	
表紙	論文種別 論文題名 所属名 著者 (含 共著者 10 名以内) 欄外見出し (25 字以内) 連絡先 必要別刷数 (無料 30 部を含めて記載)	1 枚	1 枚	1 枚
	和文要旨 索引用語 (和文, 英文併記)	400 字以内 5 個以内	400 字以内 3 個以内	400 字以内 3 個以内
本文		10,000 字以内	8,000 字以内	6,000 字以内
		緒言 (はじめに) 対象および方法 成績 (結果) 考察 結語 (おわりに)	緒言 (はじめに) 対象および方法 成績 (結果) 考察 結語 (おわりに)	はじめに 症例内容 考察
文献				
Tables と Figures Figure legends		20 枚以内	15 枚以内	10 枚以内
英文要旨	Title Authors (full names) Affiliation Abstract	200 語以内	200 語以内	200 語以内

付表2. Instructions for Authors of English Papers

Type of article	Review Article, Original Article	Clinical Analysis, New Technology	Case Report
Title page	Type of article Title Authors (Full names, no more than 10 authors) Affiliation Running title (no more than 50 characters) Correspondence to Reprints (30 reprints : free charge)		
Abstract	200 words	200 words	200 words
Key words	no more than 5 words	no more than 3 words	no more than 3 words
Text	no more than 15 typed pages	no more than 10 typed pages	no more than 10 typed pages
	Introduction Materials (Patients) and Methods Results Discussion	Introduction Materials (Patients) and Methods Results Discussion	Introduction Case Report Discussion
References			
Tables & Figures Figure legends	no more than 20	no more than 15	no more than 10

日本外科系連合学会誌編集委員会

委員長
委員

調 憲 池内 浩基 石橋 敬一郎 板橋 道朗 居村 暁
 綾部 琢哉 榎本 克久 大坪 毅 岡金 高宏 村 大正
 上田 順之進 榎山 潔 片桐 毅 本 公一 宏 保 健
 奥村 明孝 五嶋 孝博 齊田 芳久 坂本 康一 博 井 修
 五井 孝俊 柴高 浩明 清水 忠夫 鈴木 康友 郎 川 一
 塩澤 俊一 柴高 浩明 清水 忠夫 鈴木 康友 郎 川 一
 瀬田 圭二 高澤 健之 竹村 雅至 土岐 靖彦 井 正
 松田 尚邦 山下 浩二 宮崎 達也 毛利 靖彦 藤 義
 利野 靖 小川 健治 小山 勇 福島 亮治 藤井 孝明 前原 喜彦

アドバイザー